

平成26年度一般会計当初予算のポイント

持続可能なまちづくり予算 501億6,700万円

(前年度比11.8%増)

住みたい 戻りたい 移り住みたい

持続可能なまち

魅力ある都市空間

スマートウェルネス三条の推進

4.8億円

シティセールスの推進

3.2億円

市民参加の徹底

0.2億円

生きがい・交流



町家・小路などの活用

全天候型広場整備

保内地区交流拠点施設整備

下田郷の魅力創出

ほか

(粟ヶ岳・吉ヶ平周辺整備、レンタサイクル、守門川溪流釣り、古民家宿泊、スノーシューイベント等)

+
の魅力

地域経済の再活性化

60.7億円

売れるものづくり支援(「一社逸品」開発枠の新設)
成長産業分野進出支援(全天候型自転車の開発)
次世代産業創造プロジェクト(小水力発電分野への参入)
燕三条工場の祭典
燕三条ものづくりメッセ ほか

働く

育てる



子育て環境の充実

50.2億円

小中一貫教育推進
さんじょう一番星育成
アウトオブキッズニア

ほか

不可欠な魅力

重点配分

社会インフラの整備促進

48.9億円

【+ 国の経済対策(平成25年度補正) 23.1億円】

新保裏館線道路改築、緊急内水対策 など 事業効果の早期享受

大崎中学校区小中一体校建設、小・中学校の耐震化、
公共施設の維持補修 など

安全安心の確保、後年度負担の軽減

力強い地域
基盤の確立

4.1億円

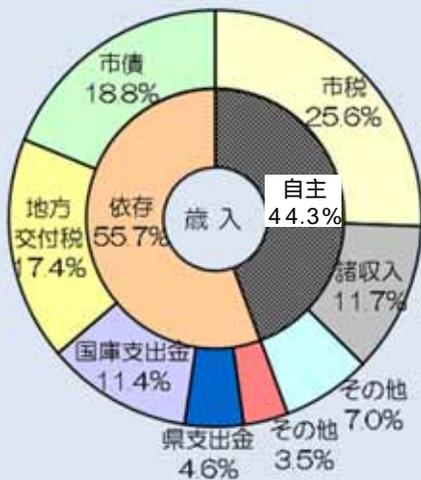
行財政改革
の推進

0.2億円

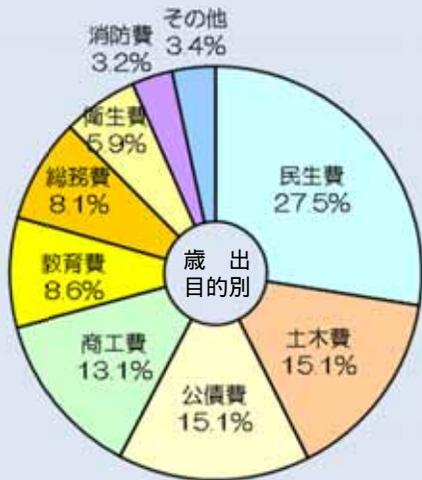
平成26年度一般会計当初予算 財政指標と予算構成比

財 政 指 標						
	H22	H23	H24	H25(見込)	H26(見込)	計画期間目標 (H27)
経常収支比率	90.7%	93.1%	92.0%	94.6%	▲ 94.7%	94.0%以内
実質公債費比率	15.7%	14.6%	14.2%	14.3%	▲ 14.6%	14.5%以内
財政調整基金残高 (退職手当基金を含む)	49.0億円	30.7億円	63.8億円	70.8億円	▼ 56.4億円	45.0億円以上

歳入予算構成比



歳出予算構成比(目的別)



歳出予算構成比(性質別)

